

テーマ

ホテルマンになりきって、日本語で接客し動画を撮影しよう！

目標

学習者レベル (日本語 N5)

- 自国文化の理解と日本人観光客の好みを理解し、日本人観光客に好まれるものと好まれないものは何かを説明できる。
- 会話能力の向上: スタッフと日本人のお客様の会話を想定し、フロントとフィットネスセンターでの会話スキットを作成して日本語で接客できるようになる。
- 情報機器やアプリを使った多角的な学習。動画編集アプリ、YouTube 等を使って動画を作成する。

コミュニケーション能力指標

【話題分野】人との付き合い

1-a 人との付き合いでよく使う基本的なあいさつ表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。

【話題分野】交通と旅行

2-b 目的地までの所要時間や費用について尋ねたり教えたりできる。

2-c 目的地までの交通機関、ルート、所要時間や料金について、尋ねたり、口頭でまたは書いて教えたりできる。

3-a 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる。

学習シナリオ

<場面状況>

科目名：ホテル日本語Ⅱ

学年：2年

時間数：2時間/週

クラス人数：52名

レベル：初級(N5)

台湾 M 大学ホテル学科では、二年生 52 名がホテル日本語を選択科目として履修している。ホテル日本語と言っても、ほとんどが大学入学後初めて日本語に触れ、週に一度だけの学習なので、複雑な敬語の説明はせずできるかぎり簡単な内容で行う。三年次にホテル実習があるので、それに備え簡単な会話や単語を聞いたり話せたりするようになることが目標である。

<活動の流れ>

第1回は、前期のおもてなしの基礎 10 句をおさらいする (いらっしゃいませ、少々お待ちください等)。フロントオフィス、フィットネスセンターに関連する単語を調べ自分が覚えたい物をリストアップする。

第2回は、先週リストアップした単語を発表する。宿題で、先輩にインタビューし実習中の楽しかったことや苦労したこと、接客中に日本語が通じたり通じなかったりした経験を聞き、プリントにまとめる。

第3回は、先週の宿題を発表する。ペアを組み、会話スキットを作成して提出する。先輩へのインタビューの内容ふまえ、覚えておくべきだったことなどを織り込む。フロントオフィスを選択した場合、お客様に付近のおすすめスポットやグルメを聞かれることが多いので、日本人には何が好まれるかを考えてそれを織り込む。単語の小テストを受ける。

第4回は、会話を練習、暗記する。

第5回は、スキットの暗記テストを受ける。

第6回は、動画を取る。そして動画編集アプリで編集し、YouTube にアップし、URL を e-learning に貼り

付け教師に送り作品を提出する。提出する際に自作品のウリの部分を書きこんでアピールする。プロジェクトの最後で簡単な表彰式「最優秀会話賞」「最優秀編集賞」等を選び、表彰する。

第7回は、発表会で作品を発表したり、他ペアにアドバイスする。

総括的評価

成果物として：

- 関連単語リスト
- スキット原稿
- 動画（会話を録画したもの）

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	ホテルで使用する単語がわかる。 普段使用する日本語とおもてなし用語（敬語）が違うことがわかる。	自分が慣れ親しんでいる台湾文化には、日本人観光客に好まれるものとそうでないものがを知る。 動画編集アプリ、YouTube等の使い方がわかる。	実習でやりがいや苦勞することに何があ るかがわかる。
できる	敬語と普段の言葉の簡単な使い分けができる。 正しい発音で単語を発音することができる。 ホテルでの会話を想定したスキットを作成することができる。	自国の文化で日本人観光客に好まれるもの、敬遠されるものは何かを調べることができる。	ホテルでの日本人のお客様の接客には日本語が役に立つことを理解することができる。
つながる	クラスメートの作品を見て、発音や単語の使い方について感想を述べ合う。	動画作品についてアドバイスをしたり、フィードバックをもらったりする。	先輩に実習中の経験を聞く。
三連携	連携1：他教科（観光学、ホテル実習、フロント管理、クラブ管理） 連携2：実習を経験した先輩との交流 連携3：日本人観光客の好みについての興味		

目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
おもてなしの基礎フレーズ 10 句をおさらいする。	将来実習する部門について考 え、仕事内容を説明できるよ うになる。	ホテルマンとし て、日本人のお客 様に接客するため の会話スキットを 作成する。	ホテルマンになり きって、日本語で接 客し動画を撮影し よう！
ホテルに関連する単語を調べリストアップする。			
[形成的評価] ホテルに関するフレーズと語彙のテスト			
将来実習したい部門をペアで話し合って決める。			
その部門で実習した先輩にインタビューして、プリントにまとめる。			
[形成的評価] 自分が実習したい部門と、先輩に聞いた実習体験を発表する。	自国文化と日本人観光客の好 みを説明できる。 会話スキットを作成すること ができる。	スキットを覚え動 画を撮影して発表 する。	
ホテル付近にはどのようなグルメや人気スポットがあるのか調べる。その中でも日本人観光客に好まれるものと好まれないものは何かを説明できる。			
日本語で会話スキットを作成する。			
スキットを隣のペアと交換し、意見を交換する。			
[形成的評価] ホテル会話スキットを提出する。	動画を撮影し、アプリで編集 することができる。	スキットを覚え動 画を撮影して発表 する。	
会話の暗記テストでスキットを暗記する。			
会話を録画する。			
動画編集アプリを使い動画を作成し、YouTube にアップロードする。自国語でうりの部分をアピールする文も添付する。			
[形成的評価] 一部ペア ¹ が動画作品を発表する。			
他ペアの作品をみて、自国語で意見交換する。	他ペアや自ペアにフィードバ ックできる。	スキットを覚え動 画を撮影して発表 する。	
自作品の良い点と悪い点を討論する。			
良くできなかったペアは討論に基づき撮り直して再提出する。			
[形成的評価] 動画の再提出			
[総括的評価] ホテル会話スキットを作成する。動画を撮影して編集する。			

¹ 全部で 26 ペアと人数が多いため、一部のペアにだけ発表してもらう。教師はコメントを e-learning に書き込んで発表できなかったペアにもフィードバックする。

ループリック

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
会話の内容	文法、語彙が正確。	文法、語彙がほぼ正確。	文法、語彙があまり正確でない。	文法、語彙の正確さにかける。
会話の長さ	会話が 20 文程度適度な長さがある。	会話に適度な長さがある。	会話に長さが足りない。	10 文以下で会話が短い。
発音	発音が明瞭で、会話が流暢である。	発音がほぼ明瞭で、会話がほぼ流暢である。	発音があまり明瞭でなく、会話もあまり流暢でない。	発音が不明瞭で、会話も流暢でない。
所作	ホテルマンとしての身だしなみや所作が正しい。	身だしなみや所作がほぼ正しい。	身だしなみや所作があまり正しくない。	身だしなみや所作が正しくない。
撮影	内容に関連した背景と小道具(手作り)を使っている。	内容に関連した背景と小道具(既製)を使っている。	内容に関連した背景はあるが小道具を使っていない。	内容に関連した背景も小道具も使っていない。
編集	動画編集アプリを使用し、タイトル、音楽、字幕が全部ついている。YouTube にアップロードできた。	動画編集アプリを使用し、タイトルや音楽がついている。YouTube にアップロードできた。	動画編集アプリを使用していないが、YouTube にアップロードできた。	動画編集アプリを使用していないし、YouTube にアップロードできていない。
協力	メンバー同士助け合って期限内に提出できた。	メンバー同士ほぼ助け合って期限内に提出できた。	メンバー同士あまり助け合わず、期限を数日過ぎた。	メンバー同士助け合わず、期限を大幅に過ぎた。